

## 平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	NPO・NGO論		授業コード	C192651
担当教員名	高見 大介・鈴木 照夫・吉村 充功		科目ナンバリングコード	E30417
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	経営経済学科 選択	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	現実の経済社会の動向に対しての関心があるかどうか、この科目の理解の程度に大きく影響してきます。日々の新聞、ニュースに関心を示し、注意を払って下さい。出席は毎回とります。			
受講心得	講義を受ける基本的なルール(私語をしない。他の受講生への迷惑行為はしないなど)を遵守すること。			
教科書	特定の教科書は使用しません。講義用のプリントを毎回配布します。			
参考文献及び指定図書	雨森孝悦 『テキストブック NPO 非営利組織の制度・活動・マネジメント第2版』 東洋経済新報社 2012年 堀田力(監修)名越修一 『新版 自分たちでつくろうNPO法人!』 学陽書房 2012年			
関連科目	特になし			

授業の目的	1995年の阪神淡路大震災での救援活動を通じてNPO・NGO(民間非営利組織)の活動が注目されました。1998年には通称NPO法が制定され、制度面での支援が整えられ始めました。本講義では、NPO・NGOの歴史、環境・福祉・教育などの活動諸分野と社会的な意味、その課題などについて学びます。新しい主体としてのNPO・NGOについて学ぶことで地域社会のさまざまな問題への主体的な取り組みのあり方を考えます。
授業の概要	NPOの概念や営利性、公益性などの基本用語について解説します。次に主要な分野ごとにNPOの事例を取り上げます。NPOの働きや特徴を把握し、NPOの世界の多様さ、分野ごとの傾向について学びます。市民活動団体としてのNPOのマネジメントについて解説します。行政が突出して大きな役割を果たしていた時代から、市民が公共的な意思決定と事業実施に参加する「市民社会」の時代への転換期にある現在こそNPO・NGOが必要とされることを学びます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：第1回 授業のオリエンテーション</b> シラバスをもとに授業計画を説明します。 授業心得を説明します。	
<b>第2週：第2回 NPOとは何か(その1)</b> 企業でもない、政府機関でもない組織、NPOの概念、非営利セクターという考え方について説明します。	配付プリント
<b>第3週：第3回 NPOとは何か(その2)</b> 市民活動の生成と発展、1990年代以降の動き、行政改革としての公益法人改革について説明します。	配付プリント
<b>第4週：第4回 非営利組織の活動事例(1)</b> 環境保全の分野について説明します。	配付プリント
<b>第5週：第5回 非営利組織の活動事例(2)</b> 地域づくりの分野について説明します	配付プリント
<b>第6週：第6回 非営利組織の活動事例(3)</b> 福祉・医療の分野について説明します。	配付プリント

第7週：第7回 社会の中のNPO 日本の平均的なNPO像、国際比較から見た日本の非営利セクターについて説明します。	配付プリント
第8週：第8回 NPOらしさとは NPO独自の役割とは何か、NPOの特質について説明します。	配付プリント
第9週：第9回NPOのマネジメント(その1) NPOのマネジメントの特質について説明します。	配付プリント
第10週：第10回 NPOのマネジメント(その2) NPOは「人」の集まりです。「人」の重要性について説明します。	配付プリント
第11週：第11回 NPOのマネジメント(その3) NPOの組織運営について説明します。	配付プリント
第12週：第12回NPOの資金調達 財源の多様性、寄付と税制について説明します。	配付プリント
第13週：第13回 NPOの評価システム NPOが信頼性を高めるためにはどうすればよいのか。成果を出すための評価について説明します。	配付プリント
第14週：第14回 NPOの今後を考える(その1) ボランティアの限界、市民社会のさらなる成熟のために非営利組織の役割がますます増大することを説明します。	配付プリント
第15週：第15回 NPOの今後を考える(その2) 公と私をつなぐものとしてのNPO、「市民」とは誰か、「市民社会」の捉え方について説明します。	配付プリント
第16週：期末試験 論述形式の期末試験です。自筆のノートと配付プリントのみ持ち込み可能とします。電子式辞書は持ち込み不可です。	配付プリント 自筆ノート、学生証
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	新聞、TVでNPO・NGOの記事、ニュースがあると関心を示し、資料収集を行なった。
【知識・理解】	1. 地域社会においてなぜ非営利組織が重要な役割を果たすのが期待されるのかを理解している。 2. マネジメントの視点から見た非営利組織の特徴を理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	これからの地域社会で必要とされるNPOの企画提案を行った。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			<b>10点</b>	
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	<b>40点</b>	<b>30点</b>		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	<b>20点</b>			
<p>(「人間力」について)</p> <p>※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。</p>				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	課題を設定してレポートを提出してもらいます。授業の中で指示します。 授業確認テストをします。意欲的に集中して授業を聴いていたかを確認する問題を出します。
発表・その他 (無形成果)	授業の中で質問する場合があります。適切な解答をした人には、記録して加点します。